

お知らせ



国土を **整** え、全力で **備** える

国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

平成 27 年 10 月 20 日

同時資料提出先

広島県政記者クラブ、合同庁舎記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

ヘリコプターを活用した「分解組立型バックホウ」 の空輸訓練を初めて実施します

【訓練の目的】

中国地方整備局は、地震や風水害などの災害が発生した場合に備えて、排水ポンプ車や照明車等の災害対策用機械を保有しており、災害発生時等に迅速な対応ができるよう災害対策用機械の操作訓練等を行っています。

今回訓練する「分解組立型バックホウ」は、山間部等の災害現場までの道路が被災し、バックホウをトラックで運搬できない場合に、分解したバックホウをヘリコプターで災害現場に空輸し、現場で組立を行い災害復旧作業に活用する機械で、平成 25 年度に導入しました。

「分解組立型バックホウ」の訓練は、昨年度は分解・組立訓練を実施しましたが、今年度は空輸訓練を含めた内容で訓練を行います。

【訓練内容】

- (1) 「分解組立型バックホウ」の分解
- (2) ヘリコプターを活用した「分解組立型バックホウ」の空輸訓練
- (3) 「分解組立型バックホウ」の組立

※訓練概要については、別紙を参照して下さい。

【取材に関して】

1. 取材希望の報道の方は、各訓練の前日までに企画部施工企画課長補佐 新宅までご連絡頂きますようお願いいたします。
2. 訓練が延期の場合は、別途、お知らせします。

○問い合わせ先

中国地方整備局 TEL (082) 221-9231 (代表) (平日昼間)

全 般 担 当 : 企画部 防 災 課 長 武部 真実 (内線3411)

企画部 防災課長補佐 柏原 良彦 (内線3412)

訓練内容担当 : 企画部 施工企画課長 玉田 一雄 (内線3451)

企画部 施工企画課長補佐 新宅 孝輔 (内線3452)

(直通082-511-6352)

中国地方整備局 中国技術事務所 TEL (082) 822-2340 (代表) (平日昼間)

バックホウ担当 : 副所長 (機械) 宮武 英信 (内線205)

施工調査・技術活用課長 山口 巧 (内線381)

(広報担当窓口)

中国地方整備局 広報広聴対策官 平川 雅文 (内線2117)

中国地方整備局 企画部 環境調整官 田尾 和也 (内線3114)

訓練概要について

1. 訓練日時・場所・内容

バックハウの分解・組立に必要なため、今回の訓練は分解・空輸・組立作業を3日に分けて訓練を行います。

また、今回の訓練では、13部材のうち4部材の分解・空輸・組立訓練を行います。

(1) 「分解組立型バックハウ」の分解

日時：平成27年10月23日（金）10：00～12：00

場所：中国地方整備局 中国技術事務所（広島市安芸区船越南2-8-1）

内容：「分解組立型バックハウ」の一部（全13部材中4部材）を分解します。

(2) ヘリコプターを活用した「分解組立型バックハウ」の空輸訓練

日時：平成27年10月26日（月）13：00～14：00（予定）

※当日の天候が悪天候の場合は、平成27年10月27日（火）に順延

※概要説明等がございますので、13：00現地集合をお願いします。

場所：旧広島西飛行場 廃止滑走路

内容：分解した4部材をヘリコプターにより吊り上げ約200m空輸します。

(3) 「分解組立型バックハウ」の組立

日時：平成27年10月27日（火）11：00～12：00

※空輸訓練が10月27日（火）に順延の場合は、平成27年10月28日（水）

場所：中国地方整備局 中国技術事務所（広島市安芸区船越南2-8-1）

内容：分解した4部材を「分解組立型バックハウ」に組み立てます。

※訓練場所は、別図のとおりです。

2. その他

(1) 分解組立型バックハウの分解・空輸・組立訓練イメージ

参考資料1

(2) 分解組立型バックハウの概要

参考資料2

訓練場所について

■ バックホウの分解・組立

分解：10/23(金)

組立：10/27(火) (空輸訓練が 10/27(火)になった場合は、10/28(水)に順延)

実施場所：中国技術事務所 広島市安芸区船越南 2-8-1



■ ヘリコプターによる空輸訓練

空輸訓練：10/26(月) (予備日 10/27(火))

実施場所：旧広島西飛行場 廃止滑走路

分解したバックホウの4部材をヘリコプターにより①から吊り上げ空輸し(空輸距離約200m)、②に降ろします。

※天候、風向きにより①と②が入れ替わる場合があります。



分解組立型バックホウの分解・空輸・組立訓練イメージ

【分解状況】



バックホウを13個の部材に分解（今回は4個の部材を空輸）



【空輸状況】



【組立状況】



【組立完了】



分解組立型バックホウの概要

参考資料2

分解組立型バックホウは、山間部等で土砂崩落等が発生し、陸路でバックホウを運搬できない場合に、13個の部材に分割(2.8トン以下)してヘリコプターで空輸することができる災害対策用機械です。

空輸後、現地で13個の部材を組み立て、災害復旧作業に使用します。

主要諸元

型式	油圧式バックホウ
バケット容量	標準(山積) 1.0m ³
クレーン最大吊上能力	2.9t以下
登坂能力(通常)	35度
最大掘削能力	バケット(通常) 149kN アーム(通常) 149kN
全長(輸送時)	9.595m
全幅(クローラ含む)	2.980m
全高(輸送時)	3.195m
車両総重量	22,810kg
車体の分割	13ブロックに分割可能 (1ブロックの重量は2.8t以下)
遠隔操作	〈無線方式〉 特定小電力無線(429MHz) 〈操作距離〉 150m程度(無線の使用環境による)

